

ほほえみ

第27号
2024年3月1日発行
発行 ほほえみ編集委員会



「わーい！勝った、勝った！」小谷小学校3年生（コスモスアリーナふきあげポッチャ体験会）

もくじ

● 花と人形のまち鴻巣 花の鴻巣フラワーセンターへ行こう！	2
● 男女共同参画社会 みんなで考えよう！	3
● 知っていますか？ ～クオータ制～	3
● 家族みんなが協力してくれる！ 時短が叶う冷蔵庫整理術	4
● 鴻巣市人権・男女共同のつどい	4
● 不登校について考える ～保護者アンケートから見えること～	5
● パープルリボンキャンペーン	6
● ひとりで悩まないで ～ひとりで抱えていませんか？まずは御相談ください～	6



花と人形のまち鴻巣 花の鴻巣フラワーセンターへ行こう！

鴻巣市に花き市場の鴻巣フラワーセンターがあることは知っていましたが、隣のパンジーハウスに花を買いに行く程度で、市場には入ったことはありませんでした。鴻巣フラワーセンター職員の渡辺さんに花き市場のことを丁寧に分かりやすく説明していただきましたので、皆さんにご紹介します。

■大きな花き市場と伺いましたが、ずいぶん広いんですね？

「市場の広さは約60,000㎡、東京ドームより大きいです。平成14年9月にそれまでであった2つの市場を統合して、最新設備を備えた『鴻巣フラワーセンター』として生まれ変わりました。鉢物の取扱高では、全国3番目の売上、取扱量*は年間4千4百万鉢となっています。」

※卸売の日は、月・水・金曜日の週3日です。この日はセリ売りを行っています。取扱量は1日あたり平均すると約30万鉢です。

■セリ室の席数とモニターのことを教えてください。

「セリ室の席数は220席、花の写真も映る価格表示のモニターを見ながら専用の端末機でセリ落とします。値段はセリ下げ方式と言って値段が下がっていく中で一番早いタイミングで高値を付けた人がセリ落とせます。」



施設情報

鴻巣フラワーセンター(株) 鴻巣市寺谷125番地 TEL 048-597-5300
見学の場合は電話予約してください。

*「花き」とは、観賞の用に供される植物



■市場の忙しい時期はいつですか？ その季節の花は？

「春の花が出荷される4月頃です。母の日があるのでカーネーションが人気です。また、秋から冬にかけてポインセチアなどのクリスマス商品で賑わいます。パンジーやシクラメン等が多く出回ります。」

■鴻巣フラワーセンターは株式会社なのですね？

「そうです。鴻巣フラワーセンター(株)が市場の開設者です。鴻巣市が52.6%出資している第3セクターの会社で、社長は市長です。卸売業務は鴻巣花き(株)が行っています。」

■普段はどんな仕事をしているのですか？

「開設者として施設の管理業務を行っています。」

■廊下の壁に小学生が見学している写真がありましたか？

「学校から社会見学の依頼があったときに対応しています。生徒さんを案内する時はとても楽しく、見学に来た皆さんがいろいろなことに興味を持ち質問してくれるのがとても嬉しいです。また、市民の皆さんの見学会を春と秋に年2回行っています。」

広報『かがやき』に掲載しますので参加してください。お帰りには、その季節のお花などもプレゼントしています。」

渡辺さんからのことば

「是非、皆さんも花き市場を見学に来てください。セリが見られるのは月・水・金曜日です。セリはその日より終わる時間が変わるので、見学を希望される方は予約を必ず入れてください。お待ちしております。」

男女共同参画社会 みんなで考えよう!

令和5年7月11日(火)クレアこうのす小ホールにおいて講師の方をお招きし、
鴻巣市民生委員・児童委員協議会連合会 男女共同参画推進部会 研修会を行いました。

【テーマ「男女共同参画の実現に向けて」】

こんなことはありませんか

- 男は強く、女は女らしく生きづらさを感じている人
- 会長、役員などを男性に無理にお願いしていませんか
- 家事が多すぎて疲れた顔をしている人
- 子育ての大切さや楽しみを一緒に感じたいけれど、休みが取れず仕事中心になっているお父さんお母さん

日常生活の中で、男だから、女だからではなく、誰もが生き生き輝く社会になってほしいと感じました。
今回の研修会は、たくさんの気づきや前向きな気持ちを持つことができ、有意義な時間を過ごすことができました。



参加者の声

- ◆ ジェンダー平等は、より多くの方が幸せに生きられることですね。
- ◆ アンコンシャス・バイアスという言葉は初めて聞きました。男だから女だからと言ってしまふことがあります。
- ◆ 子どもの時から男女共同参画の教育を受けていないと大人になってからの理解は難しいです。
- ◆ 家庭での役割が女性に多く、仕事は男女平等ではなかなか政治の世界で女性は増えないなと思いました。

※ジェンダーとは、「男らしさ・女らしさ」と表現されるもの。

※アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の偏ったものの見方」のこと。

知っていますか? ~クォータ制~

クォータ制とは格差是正のためにマイノリティに割り当てを行うポジティブ・アクションの手法です。たとえば議員候補者や議席の一定数を「女性」に対して割り当てる制度で、政治に限らず、ビジネスの場面でも会社役員の決定の際などに用いられています。クォータ制を導入することで、今まで出産や育児というライフイベントのため敬遠されがちな女性の積極的登用を促し多様性を後押しできるといわれています。

世界経済フォーラムが毎年発表するジェンダーギャップ(男女格差)指数では日本の順位は146か国中125位、政治分野は女性議員が少ないことから日本は138位でした(2023年6月21日公表)。

女性議員の比率を高めるには、クォータ制を導入している諸外国から学ぶ必要があります。クォータ制はノルウェー発祥です。1974年に政党レベルで自主的に導入が決まり、2020年には40%が女性議員で一般企業にも普及しています。

ノルウェーでは、女性議員が多いことで男女平等を意識した育児休業制度が導入されています。



令和5年度 こうのす男女共同セミナー

令和5年12月7日(木) 14:00～

家族みんなが協力してくれる！ 時短が叶う冷蔵庫整理術

講師：時短アドバイザー
佐藤 智実さん



クリアこうのすで行われた時短アドバイザーの佐藤智実さんが講師の男女共同セミナーに参加しました。

会場に入り、机の前に座ると置いてある資料の1枚目に目が釘付け！そこには冷蔵庫の空っぽのイラストと共に「あなたの今の冷蔵庫を書いてみよう」という文字が飛び込んできました。始まる前から参加者の皆さんは悩みながら書き込みをしていました。先生は「全部書けなくても大丈夫ですよ～」と優しく明るい笑顔で声をかけてくださいました。

中身の次は「理想の冷蔵庫&暮らしは？」をテーマに冷蔵庫、自分、家族の状態を書き出し、グループになって気になるところはどこかを話し合いました。

使いやすく家族みんなが協力してくれる冷蔵庫を作るには「8割収納」「定位置決め」「情報共有」とのこと。「買い過ぎ」や「どこに何があるかわからない」を解消し、定位置を決めることで家族みんなが使いやすくなるという具体策を教えてくださいました。始めてみよう！という気持ちになれる楽しいセミナーでした。

参加者の声

- ◆早速行動を起こして、スッキリした冷蔵庫にしていきたいと思いました。
- ◆主婦の悩みは同じだなと共感した。とても身近な問題なので、頑張ってみようと思う。
- ◆“冷蔵庫の片付け”からこれを応用し、部屋の片付け等も頑張りたいと思います。

令和5年度 鴻巣市人権・男女共同のつどい

令和6年1月21日(日) 14:00～

夢と絆

新潟産業大学経済学部特任教授

蓮池 薫さん



<蓮池 薫さんの講演会を聞いて>

- 満員の客席の中で始まった講演会。それは、この問題に対する関心の高さをハッキリと示している光景だと感じました。
- “謎の失踪”ではなく“北朝鮮の拉致”だったとわかるまで、ジャーナリストたちが謎の失踪事件を調べ、記事にしていくことにより世間にニュースとして広がっていきました。また、ソウルで北朝鮮の工作員が逮捕され、その証言と脱北者からの情報によって、横田めぐみさんが北朝鮮に生存していることがわかり、ようやく家族の方々の訴えが国に届き、事件として動き始めました。
- 2002年、当時の小泉総理大臣の訪朝で帰国できたのは13人のうち5人だけ。8人の方たちは亡くなったという話でしたが、その後の検証では亡くなったという確実な証拠がない状態です。蓮池さんは皆さんが生存されていると信じています。
- 後半は、具体的に拉致された後の暮らしについてのお話でした。「もし自分だったら」「もし家族がそうなったら」と答えが出ない問いが頭の中に浮かびました。困難な状況の中でも強い気持ちを持ち続けた蓮池さんをこれからも応援していきたいです。そして、1日も早く8人の方たちが帰国できるよう願い続けて行こうと思った1日でした。



参加者の声

- ◆ニュースやテレビをみても実際は他人事でした。今回おはなしを聞いて、自分のことのように感じました。
- ◆人権問題は色々な点に係る事柄なので、たくさん知識を得たいと思いました。
- ◆蓮池さんの講演すばらしかったです。一日も早い拉致被害者の問題解決を望んでいます。

不登校について考える ～保護者アンケートから見えること～

昨年度、全国で不登校の小中学生は約30万人と前年度から22%増え過去最多となりました。このような中、鴻巣市内にある「不登校ひきこもりを考える親の会鴻巣」が、小学生以上の保護者を対象に「不登校を考えるアンケート」を実施しました（41件の回答：子ども1名につき1件）。アンケートの結果の概要をご紹介します。



アンケートに回答した子どもの内訳

現在不登校の子どもと元不登校の子どもの割合はおよそ7：3で、現在の学年では、小学生、中学生、中学校卒業後の割合は、3：4：2でした。不登校を経験した学年では、中学2年生が最も多く5割を超えました。

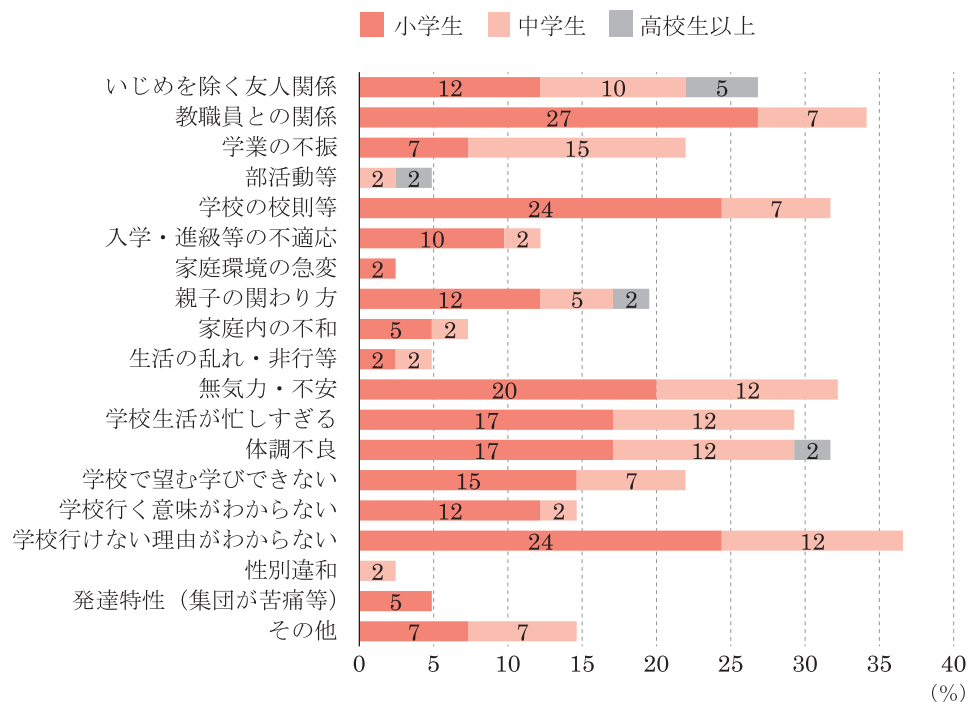
学校に行っていない時期に過ごしている場所は、「自宅」100%、「フリースクール」37%、「不登校の子どもの居場所」22%、「学校の別室」17%の順でした。

不登校の要因

回答の多い順に、「子ども自身も学校へ行けない理由がわからない」36%、「教職員との関係をめぐる問題」34%、「無気力・不安」32%、「学校の決まり・校則等をめぐる問題」、「体調不良」31%でした（右グラフ参照）。

保護者が困っていること

回答の多い順に、「仕事に行けない・行きづらい」56%、「学校とのやりとり」、「子どもの体調不良や精神的苦痛」49%、「自身の体調不良や精神的不調」46%、「相談先が見つけにくい」41%でした。



「不登校の要因」について保護者が当てはまると思うもの（複数回答）

支援のニーズ

学校に対して保護者の望むことは、回答の多い順に「子どもの意思を尊重した対応」63%、「繊細な子や特性のある子への理解と配慮」、「相談先の情報提供（公的機関や親の会等）」61%、「ダメージを受けている子への理解と配慮」、「多様な進学先の情報提供」59%でした。実際の相談先については、「友人・知人」78%、「不登校の親の会等」63%、「家族・親戚」61%、「スクールカウンセラー」59%でした。

～子ども自身も「学校へ行けない」理由がわからない～

不登校の要因として、「子ども自身も学校へ行けない理由がわからない」が多かったことから、周りの大人が不登校の要因を探り過ぎて子どもを追い詰めないことが大切だと思います。要因の「その他」には「性別違和」という記述もありました。子どもの意思を尊重すること、多様な子ども達の心の理解をより一層深められたらと願います。

不登校の子ども本人が一番辛い…それはもちろんのことですが、保護者の精神的・経済的な不安や負担もかなり大きいと感じました。親が一人で抱え込まず、「助けて」と声をあげられるよう、親子を孤立させない温かな支援が大切です。

自由記述の中では、学校の対応で辛かった体験だけでなく、先生方の温かいサポートに救われたコメントも多数ありました。一方で、先生方の多忙・疲弊を心配する声もありました。大人がゆったりと子どもと向き合える環境が子どもの豊かな学びに繋がると思います。今回のアンケート結果が、今後の不登校をめぐる支援に活用されることを願います。

親の会のInstagramもぜひご覧ください。



不登校ひきこもりを考える
親の会鴻巣 Instagram

パープルリボンキャンペーン

パープルリボン（紫色のリボン）はDV（ドメスティック・バイオレンス）をはじめとする女性に対する暴力をなくす運動のシンボルです。埼玉県男女共同参画推進センター（WithYouさいたま）では、女性に対する暴力をなくす運動として、タペストリーに県民の方々がパープルリボンを入れ、県内市町をリレー方式でつなぐイベントを毎年開催しています。鴻巣市でも、令和6年1月21日～26日の期間タペストリーを展示し、多くの市民の方々にご参加いただきました。



並木市長も参加しました

ひとりで悩まないで ～ひとりで抱えていませんか？ まずは御相談ください～



相談内容	相談機関	電話番号	受付時間等
DV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談	埼玉県婦人相談センター	はれれば #8008 または 048-863-6060	月～土 9:30～20:30 日・祝 9:30～17:00
	鴻巣市やさしさ支援課	048-541-9018	月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
	内閣府DV相談+(プラス)	つなぐはやく 0120-279-889	24時間365日受付
	埼玉県 DVお悩みチャット@埼玉		日・水・金 15:00～20:30 年末年始を除く
性暴力等犯罪被害 専用相談電話	埼玉犯罪被害者援助センター ・埼玉県産婦人科医会 アイリスホットライン	やさしい 0120-31-8341	24時間365日受付
人間関係、家族、夫婦、 DV、生き方などの相談	埼玉県男女共同参画推進センター「WithYouさいたま」	048-600-3800	月～土 10:00～20:30 (祝日・年末年始・第3木を除く)
男性のための電話相談	埼玉県男女共同参画推進センター「WithYouさいたま」	048-601-2175	毎月第1・第3日 11:00～15:00 (祝日・年末年始を除く)
女性相談	鴻巣市やさしさ支援課	048-541-9018 (予約優先)	毎月第1・第4木 11:00～14:00
性的マイノリティに 関する悩み事相談	鴻巣市やさしさ支援課	048-541-9018 (予約優先)	毎月第1・第4木 14:00～15:00
性的指向や性自認に 関する悩み	埼玉県「にじいろ県民相談」 (埼玉県LGBTQ県民相談)	0570-022-282 (ナビダイヤル)	毎週土 18:00～21:30

(注意) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、相談の実施内容に変更が生じる場合があります。



男女共同参画情報誌「ほほえみ」
第27号 2024年3月1日発行

発行 鴻巣市ほほえみ編集委員会
編集委員 小池真奈美、知野龍三、橋本 円、
小川彩子、佐藤一男、室伏千恵子



ほほえみ編集委員募集中!

あなたも編集委員会に参加してみませんか。
ご意見・ご感想はやさしさ支援課までお寄せください。

鴻巣市やさしさ支援課

✉ yasasisa@city.kounosu.saitama.jp